

安全な国産グリーン社会

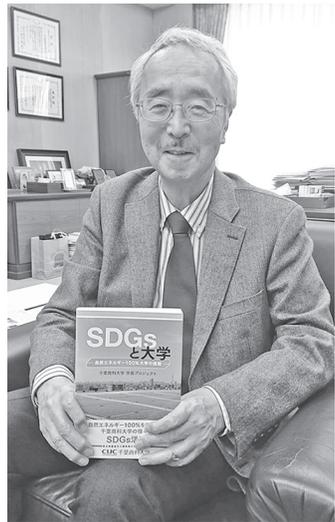
コラム SDGs Safety Domestic Green Society

第10回

大学が先導する国産グリーン社会
―千葉商科大学の取り組み

一般社団法人 洗楓座 代表理事

佐藤建吉



原科幸彦学長と大学発の著書

できる人物、すなわち「治道家」を育成することにありま... 佐藤建吉

理念が活かされている... ①は会計学... ②は企業行動様式の健全化...

いすみでの未来学

千葉県いすみ市は、洋上風力の有望な区域に指定されており、銚子に続いて未来のエネルギーの発信地&先導地となることを住民としては望んでいる。しかし、地元における洋上風力の受容性はもう一つ足りない。そうした状況を踏まえて、筆者と地元青年会議所では、「いすみの未来学講座」という講演会を昨年10月に開催した。

グリーンの意味

グリーンの意味... バングラデシュの国旗は、緑地に赤丸。日の丸の白地に緑に変えたテザイン。東京都立図書館HPによれば、「緑は青葉を、赤は太陽を表し、Pキスタンからの独立のために戦った若者たちの意気と犠牲を象徴している。緑はイスラム教のシンボルカラーだが、イスラム教の象徴ではないと示すために、濃い緑を用いたと言われる。赤い円は、風になびいての位置は、風になびいても中央に見えるように少し旗竿側に寄っている。日の丸を参考に作られたと言われ、1972年に採用された」とある。

業こそが社会が求めるもので、煙突から吹き上がる黒煙はわが国では見られない。煙はあっても蒸気の白煙である。勿論、緑煙などというのもなく、それが「グリーン社会」の象徴でもない。

「グリーン社会を学長が先導... 前述した千葉商科大学の原科幸彦学長を学長室に伺った。同大は、千葉県市川市国府台(この町)にある。当地は下総の高台にあり、地名のようにかつて国府があったところで、現在は3つの大学はじめ中小学校がある学園街でもある。千葉商科大学は、1928年に文学博士・遠藤隆吉氏により創立された。鳥嶋商業学校を前身として1950年に新制大学となった。大学のHPによれば、「遠藤隆吉の教育の理念は、高い理想のもとに現実の天職を究むる人物、総合的視点から個別科学を見ることの実践である。実原科学長は未来学

設置状態と共に、近隣棟の全貌を眺望した。また、地上階にはテスラの蓄電池が学生も出入りできる所に設置されていた。ソーラーシェアリングについても取り組んでいる。クラブ活動棟の隣にはソーラーシェアリング実験施設(1号機)があり、大学構内でぶどうを栽培しワインを作る「UC100ワイン・プロジェクト」とも相乗し、100部大学の発信を行っている。その看板には、農業・商業・環境・社会といった新しい試みにチャレンジするとある。これも、創業の理念に叶うものであると評価したい。

グリーン社会を学長が先導

講師には、千葉大学の元学長・古在豊樹先生、千葉商科大学の学長・原科幸彦先生に依頼した。古在先生は、施設農業の専門家として植物工場のパイオニアである。原科先生は、本稿の主題である「自然エネルギー100部大学」づくりのプロジェクト

の時代には重厚長大の産業こそが社会が求めるもので、煙突から吹き上がる黒煙はわが国では見られない。煙はあっても蒸気の白煙である。勿論、緑煙などというのもなく、それが「グリーン社会」の象徴でもない。

「グリーン社会を学長が先導... 前述した千葉商科大学の原科幸彦学長を学長室に伺った。同大は、千葉県市川市国府台(この町)にある。当地は下総の高台にあり、地名のようにかつて国府があったところで、現在は3つの大学はじめ中小学校がある学園街でもある。千葉商科大学は、1928年に文学博士・遠藤隆吉氏により創立された。鳥嶋商業学校を前身として1950年に新制大学となった。大学のHPによれば、「遠藤隆吉の教育の理念は、高い理想のもとに現実の天職を究むる人物、総合的視点から個別科学を見ることの実践である。実原科学長は未来学

学長との面談後、校舎屋上でのソーラー発電について見学した。案内には当初から100部大学の事業に携わっている近藤良介氏が担当してくれた。藤原氏が担当してくれた。まず、屋上ソーラーパネルに昇りパネル

バングラデシュの国旗

筆者は、バングラデシュには訪問したこともあり親しみがある。国旗の緑は豊かな大地の象徴である。緑やグリーンは、私たちに安んずる感覚や落ち着きを与えてくれる。

いまから50年ほど前の「経済ファースト」産業革命に由来する炭酸ガス(CO2)の削減が求められる。環境ファーストである。

以上から千葉商科大学は、創立の精神から「経済ファースト」から「環境ファースト」への変化に処して、「グリーン社会」を教育の場&大学として創立の理念を先導していると評価できる。

学長との面談後、校舎屋上でのソーラー発電について見学した。案内には当初から100部大学の事業に携わっている近藤良介氏が担当してくれた。藤原氏が担当してくれた。まず、屋上ソーラーパネルに昇りパネル



連載



屋上ソーラーパネルに昇りパネル... 藤原氏が担当してくれた。まず、屋上ソーラーパネルに昇りパネル